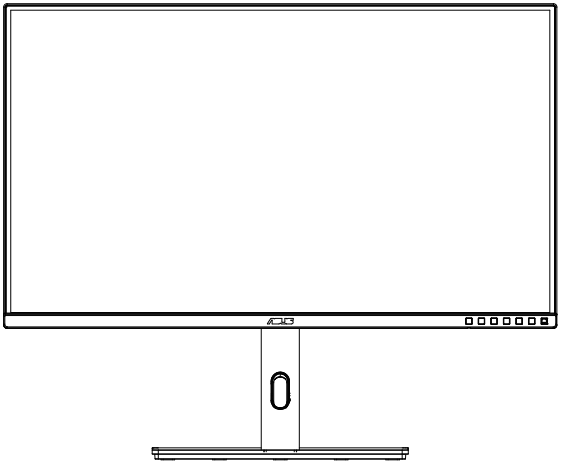
PA329CV シリーズ
液晶ディスプレイ

ユーザーガイド



HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

目次

TCO 認定 ..... **iii**
通知 ..... **iv**
安全上の注意 ..... **vi**
留意点とお手入れについて ..... **x**
1.1 ようこそ! **1-1**
1.2 本パッケージの内容 **1-1**
1.3 ディスプレイの組み立て **1-2**
1.4 C-クランプの組み立て **1-3**
1.5 ケーブル接続 **1-4**
1.5.1 液晶ディスプレイの背面 1-4
1.6 ディスプレイ各部の説明 **1-5**
1.6.1 コントロールボタンの使用 1-5
2.1 ディスプレイの調整 **2-1**
2.2 アーム/スタンドの取り外し(VESAウォールマウント用) **2-2**
2.3 外形寸法 **2-3**
3.1 画面(OSD)メニュー **3-1**
3.1.1 設定方法 3-1
3.1.2 OSD機能の概要 3-2
3.2 仕様 **3-12**
3.3 トラブルシューティング(FAQ) **3-13**
3.4 対応タイミング一覧 **3-14**

Copyright © 2020 ASUSTeK COMPUTER INC.無断複写、転載を禁じます。

購入者によるバックアップの場合を除き、ASUSTeK COMPUTER INC.(以下「ASUS社」)からの文書による明示的な許諾を得ることなく、本マニュアルに記載された製品およびソフトウェアを含む本マニュアルのいかなる部分も、いかなる形態または方法によっても無断で複製、送信、複写、情報検索システムへの保管、翻訳することは禁止されています。

以下の場合は、製品保証やサービスを受けることができません。(1) 製品に対し、ASUS社によって文書により認定された以外の修理、改造、改変がおこなわれた場合。 (2) 製品のシリアル番号が傷ついたり失われたりしている場合。

ASUS社は本書を「現状のまま」提供するものであり、市販性、特定目的との適合性に関する黙示の保証または条件を含む(ただし必ずしもこれらに限定されない)明示または暗示の保証を一切いたしません。ASUS社、同社の責任者、従業員、代理人は、本書の記述や本製品の不具合から損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、いかなる間接的、直接的、偶発的、二次的な損害(利益の損失、取引上の損失、データの損失、業務の中断などを含む)に対し責任を負わないものとします。

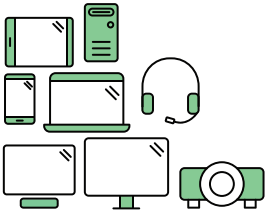
本書の製品仕様や情報は参照のみを目的として提供されるもので、随時、予告なく変更される場合があり、ASUS社による確約として解釈されるものではありません。本書に記載された製品およびソフトウェアを含む、本書の内容に不具合や誤りがあったとしても、ASUS社は一切責任を負いません。

本書に記述のある製品名および商号は、各社の所有する登録商標または著作権である場合があります。本書ではこれらを特定および説明のために使用しており、それらを侵害する意図はありません。

TCO 認定

A third-party certification according to ISO 14024

Toward sustainable IT products



Say hello to a more sustainable product

IT products are associated with a wide range of sustainability risks throughout their life cycle. Human rights violations are common in the factories. Harmful substances are used both in products and their manufacture. Products can often have a short lifespan because of poor ergonomics, low quality and when they are not able to be repaired or upgraded.

This product is a better choice. It meets all the criteria in TCO Certified, the world's most comprehensive sustainability certification for IT products. Thank you for making a responsible product choice, that help drive progress towards a more sustainable future!

Criteria in TCO Certified have a life-cycle perspective and balance environmental and social responsibility. Conformity is verified by independent and approved verifiers that specialize in IT products, social responsibility or other sustainability issues. Verification is done both before and after the certificate is issued, covering the entire validity period. The process also includes ensuring that corrective actions are implemented in all cases of factory non-conformities. And last but not least, to make sure that the certification and independent verification is accurate, both TCO Certified and the verifiers are reviewed regularly.

Want to know more?

Read information about TCO Certified, full criteria documents, news and updates at **tcocertified.com.** On the website you'll also find our Product Finder, which presents a complete, searchable listing of certified products.

通知

FCC（米国連邦通信委員会）規定の適合宣言

本装置は米国連邦通信委員会（FCC）規定第 15 部に準拠しています。本装置の操作は以下の 2 つの条件を前提としています。

- 本装置は有害な電波障害を引き起こすとは限らないこと。
- 本装置は、誤動作を引き起こしうる電波障害を含め、いかなる電波障害も容認しなければならないこと。

本装置は、FCC 規定第 15 部によるクラス B デジタル装置の規制に準拠することが試験により確認されています。これらの規制は、住居に設置した場合の有害な電波障害に対する適正な保護を提供することを目的としたものです。本装置は無線周波エネルギーを生成、使用し、放射しうるため、取り扱い説明書の記載どおりに設置、使用しない場合には、無線通信に有害な電波障害を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置方法において電波障害が発生しないという保証はありません。本装置の電源のオン / オフを切り替えることにより、本装置が無線またはテレビの受信に有害な電波障害を引き起こしていることが確認された場合は、電波障害を修正するために次の対処方法のうちいくつかをお試しください。

- 受信アンテナの向きや設置場所を変える。
- 本装置を受信機から離す。
- 受信機が接続されている回路とは別の回路にコンセントを接続する。
- 販売店または無線機/テレビの専門技術者に問い合わせる。

注：本ディスプレイは、ENERGY STAR 認定です。

本製品は、工場出荷時デフォルト（ホーム構成）設定で、ENERGY STAR® の認可を受けています。工場出荷時デフォルト設定を変更するか、他の機能を有効にすると、消費電力が増加し、ENERGY STAR® の認可に必要な制限を超える可能性があります。ENERGY STAR® プログラムの詳細については、ENERGYSTAR.gov（www. energystar.gov）を参照してください。

カナダ通信省規制の適合宣言

本デジタル装置は、カナダ通信省の電波障害規制で規定されている、デジタル装置からの電波ノイズ放射に関するクラス B 制限を超えません。

本クラス B デジタル装置は、カナダの ICES-003 に準拠しています。

装置が落下して、重傷または死亡の原因となる場合があります。けがを防ぐため、本装置は、設置手順に従って床 / 壁にしっかりと取り付けてください。

安全上の注意

- ディスプレイのセットアップをおこなう前に、本製品に付属しているすべての説明書をよくお読みください。
- 火事や感電の危険を予防するため、ディスプレイを雨や湿気にさらさないでください。
- ディスプレイのキャビネットは決して開けないでください。ディスプレイ内部には危険な高電圧が通っており、重症を負う恐れがあります。
- 電源供給部が破損した場合は、ご自分で修理を試みないでください。その場合、正規のサービス技師または販売店にお問い合わせください。
- 本製品をご使用になる前に、すべてのケーブルが正しく接続されており電源コードが損傷していないことをご確認ください。何らかの損傷を発見した場合は、ただちにお買い上げ店までご連絡ください。
- キャビネット背面または上部にある細長い隙間および開口部は通気孔です。これらの穴をふさがないでください。適度な通気を確保していない状態で、本製品をラジエータや熱源のそばまたは上に置かないでください。
- ディスプレイの稼動には、ラベルに表示されたタイプの電源のみをご使用ください。ご家庭の電源タイプが不明な場合は、お買い上げ店または地域の電力会社までお問い合わせください。
- お住まいの地域の電力標準に従って、適切な電源プラグをご使用ください。
- OAタップや延長コードに過度の電流負荷をかけないでください。過重電流は感電を引き起こす恐れがあります。
- 埃、湿気、高温や低温を避けてください。ディスプレイを水がかかる恐れのある場所に置かないでください。また、ディスプレイは安定した平面に置いてください。
- 雷雨時、または長期にわたって使用しない場合は、装置の電源コードを抜いておいてください。これは、電力サージによる損傷からディスプレイを守るためです。
- ディスプレイのキャビネット開口部に、異物を押し込んだり液体をこぼしたりしないでください。
- 万全の動作を保証するため、本ディスプレイは100～240V ACと記され正しく構成されたレセプタクルを持つ、ULリスト記載のコンピュータでのみご使用ください。
- 手がすぐ届くように、壁コンセントの傍に機器を設置してください。
- ディスプレイに技術的な問題が発生した場合は、正規のサービス技師または販売店にお問い合わせください。
- 主電源プラグをコンセントに接続する前に、アース接続を行ってください。アース接続を切断する場合は、主電源プラグをコンセントから抜いた後で行ってください。

警告

- 指定されたヘッドホンまたはイヤホン以外の使用は、過剰な音圧により難聴になる恐れがあります。
- 建物内に設置する場合は、分電システムに定格 120/240V、20A (最大) の回路遮断器が搭載されていることを確認してください。
- 電源コードに 3 ピンアタッチメントプラグが付属している場合は、電源コードを接地された (アースされた) 3 ピンコンセントに接続してください。たとえば、2 ピンアダプターを取り付けるなど、電源コードの接地ピンを無効にしないでください。接地ピンは、重要な安全機能です。
- 「 重要：本製品付属のACアダプターおよび／または電源コード以外で本機に電力を供給しないでください。
- 付属のACアダプターおよび／または電源コードを他の製品に使用しないでください。故障・事故の原因となります。」

安定性に関する危険。

製品が落下して、重傷または死亡の原因となる場合があります。怪我を防ぐため、本製品は、設置手順に従って床 / 壁にしっかりと取り付けてください。

製品が落下して、重傷または死亡の原因となる場合があります。多くの怪我、特に子供の怪我は、次のような簡単な予防策を講じることで回避できます。

製品セットのメーカーが推奨するキャビネットまたはスタンドあるいは設置方法を必ず使用してください。

製品を安全に支えることができる家具を必ず使用してください。

製品がサポート家具の端からはみ出していないことを必ず確認してください。

製品またはその操作を行うために、家具に上ることの危険性について、常にお子様に教育してください。

製品に接続されているコードやケーブルに、つまずいたり、引っ張ったり、つかんだりしないように、必ず配線してください。

不安定な場所に製品を置かないでください。

家具と製品の両方を適切なサポートに固定せずに、製品を背の高い家具（食器棚や本棚など）に置かないでください。

製品とサポート家具の間にある布やその他の素材の上に製品を置かないでください。

おもちゃやリモコンなど、お子様が登りたくなるようなものを、製品や製品が置かれている家具の上に置かないでください。

既存の製品を保持および再配置する場合は、上記と同じ考慮事項を適用してください。

イヤホンやヘッドホンからの過度な音圧により、聴覚障害を引き起こす可能性があります。イコライザーを最大に調整すると、イヤホンやヘッドホンへの出力電圧が増加し、音圧レベルが上がります。

1. 本装置を廃棄する場合は、家庭ごみとして廃棄せず、適切な収集施設を使用してください。

2. 利用可能な収集システムに関する情報は、地方自治体にお問い合わせください。

3. 収集システムを使用せず、本装置を埋め立てごみ処理値またはごみ捨て場に廃棄すると、有害物質が地下水に漏れ出し、食物連鎖を通して、人間の健康を害する可能性があります。

4. 古い装置を新しい装置に交換する場合、販売店は、お客様の最小限の費用負担で、古い装置を回収する法的責任を負っています。

イヤホンやヘッドホンからの過度な音圧により、聴覚障害を引き起こす可能性があります。イコライザーを最大に調整すると、イヤホンやヘッドホンへの出力電圧が増加し、音圧レベルが上がります。

本装置を廃棄する場合は、家庭ごみとして廃棄せず、適切な収集施設を使用してください。

利用可能な収集システムに関する情報は、地方自治体にお問い合わせください。

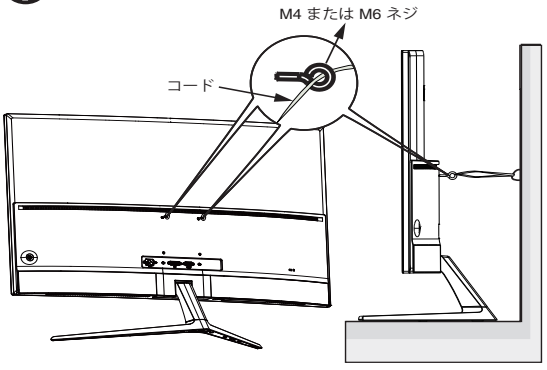
収集システムを使用せず、本装置を埋め立てごみ処理値またはごみ捨て場に廃棄すると、有害物質が地下水に漏れ出し、食物連鎖を通して、人間の健康を害する可能性があります。

古い装置を新しい装置に交換する場合、販売店は、お客様の最小限の費用負担で、古い装置を回収する法的責任を負っています。

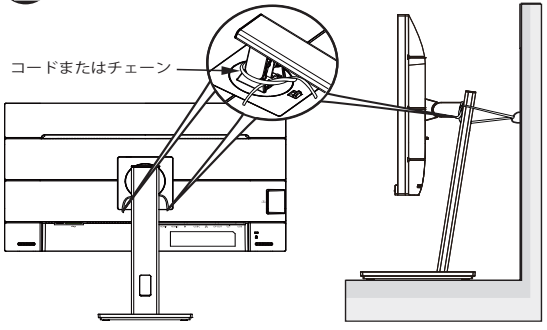
転倒の防止

ディスプレイを使用するときは、モニターの落下を防ぐために、モニターの重量を支えることができるコードまたはチェーンを使用して、液晶ディスプレイを壁に固定してください。

❶



❷



- ディスプレイのデザインは、図に示されているものと異なる場合があります。
- 設置は資格のある技術者が行う必要があります。詳細については、サプライヤにお問い合わせください。
- 正味重量が 7 kg 以上のモデルの場合。転倒を防ぐための適切な方法を選択してください。
- VESA マウント付きのモデルの場合は、方法 ❶, iを使用して、リング付きのネジを VESA マウントの穴に取り付けてから、コードまたはチェーンを壁に結んでください。それ以外の場合は、方法 ❷ を使用して、コードまたはチェーンをスタンドに結び、壁に固定してください。

留意点とお手入れについて

- ディスプレイを持ち上げたり移動したりする際は、あらかじめケーブルや電源コードを抜いておくことをお勧めします。ディスプレイを設置する際は、正しいやり方で持ち上げてください。ディスプレイを持ち上げたり持ち運んだりする際は、本体の縁をつかむようにしてください。スタンドやコードでディスプレイを持ち上げないでください。
- お手入れ方法。ディスプレイをオフにし、電源コードを抜きます。ディスプレイ表面を、汚れのない柔らかい布で拭きます。頑固な汚れには中性クリーナーで湿らせた柔らかい布をお使いください。
- アルコールやアセトン入りのクリーナーは使用しないでください。液晶ディスプレイ専用クリーナーをご使用ください。クリーナーを画面に直接吹き付けることは絶対にしないでください。クリーナー液がたれてディスプレイ内部に入り込むと、感電を引き起こす恐れがあります。

以下の症状は、ディスプレイの正常な状態です。

- 初期のご使用中に、画面にちらつきが起こることがありますが、これは蛍光灯の性質によるものです。電源を切り再度入れ直すことで、画面のちらつきはなくなります。
- ご使用のデスクトップパターンによって、画面の輝度にむらがあるように感じることがあります。
- 同じ画像が何時間にも渡って表示され続けると、別の画像に変えた後でも前の画像の残像が残る場合があります。この場合、画面はゆっくり回復していきます。または電源をオフにして数時間すると直ります。
- 画面が真っ黒になったりフラッシュしたり、あるいは動作しなくなった場合は、販売店またはサービスセンターに修理を依頼してください。画面をご自分で修理しないでください。

本マニュアルのルール

警告：作業をおこなう上で、怪我の発生を防ぐための注意事項です。

注意：作業をおこなう上で、部品の損傷を防ぐための注意事項です。

重要：作業をおこなう際に従うべき注意事項です。

注：作業にあたってのヒントや補足情報です。

本書に記載された以外の情報を閲覧するには

追加情報や、製品およびソフトウェアのアップデートについては、以下の情報元を参照してください。

1. **ASUS社ホームページ**

   ASUS 社ホームページでは、世界中に向けて ASUS 社のハードウェアおよびソフトウェア製品の最新情報を提供しています。
   http://www.asus.com を参照してください。

2. **オプション文書**

   お買い上げの製品パッケージには、販売業者によって追加されたオプション文書が同梱されている場合があります。これらの文書は標準パッケージの一部ではありません。

回収サービス

ASUS リサイクルおよび回収プログラムは、環境を保護するための最高水準に対するコミットメントからもたらされています。ASUS はお客様が当社製品、バッテリおよびその他の部品、さらには梱包材料を責任を持ってリサイクルするためのソリューションを提供していると信じています。異なる地域での詳細なリサイクル情報については、http://csr.asus.com/english/Takeback.htm にアクセスしてください。

1.1 ようこそ!

ASUS® 液晶ディスプレイをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ASUS 社の最新型ワイド画面液晶ディスプレイは、より鮮明で幅広な高発色ディスプレイに加え、便利な機能を搭載しています。

これらの機能により、本ディスプレイがお届けする便利で快適なビジュアル体験がお楽しみいただけます。

1.2 本パッケージの内容

お手元のパッケージに、以下のものが入っていることを確認してください。

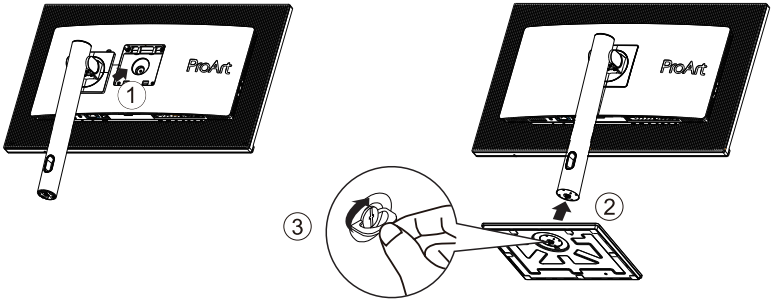
- ✓ 液晶ディスプレイ
- ✓ スタンド / ベース
- ✓ クイックスタートガイド
- ✓ 保証カード
- ✓ 1x USB Type-C ケーブル (オプション)
- ✓ 1x 電源コード
- ✓ 1x HDMI ケーブル (オプション)
- ✓ 1x DP ケーブル (オプション)
- ✓ 色較正テストレポート
- ✓ ProArt ウェルカムカード
- ✓ C- クランプ

- 上記アイテムが損傷したり紛失した場合は、ただちに販売店までご連絡ください。
- * また、TCO 認定の交換部品をお使いください。

1.3 ディスプレイの組み立て

ディスプレイの組み立て：

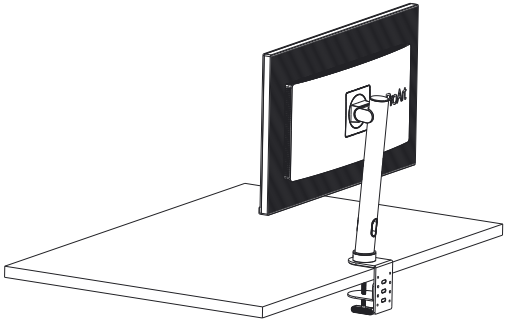
1. スタンドをモニターヘッドに挿入し、アームのネジ穴とベースのネジを合わせます。次に、ベースをアームに挿入します。
2. 付属のネジを締めてベースをアームに固定します。



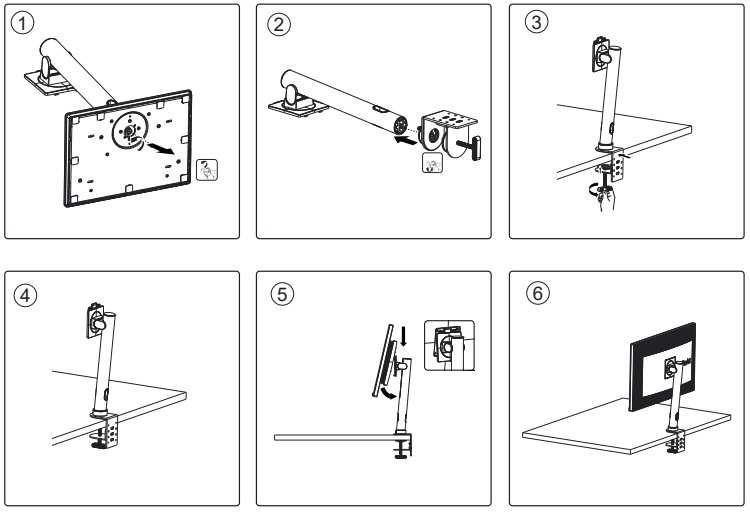
* ベースのネジサイズ：M6 x 17mm

1.4 C-クランプの組み立て

1. C-クランプは、最大8cmの厚さの表面にモニターを取り付けることができます。開始する前に、クランプ全体を取り付ける十分な空間があること、表面が頑丈で平らであることを確認してください。

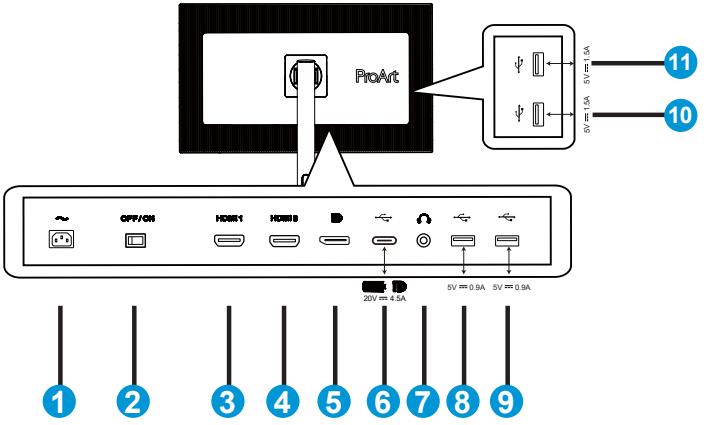


2. 下図に従い、モニターを取り付けます。



1.5 ケーブル接続

1.5.1 液晶ディスプレイの背面



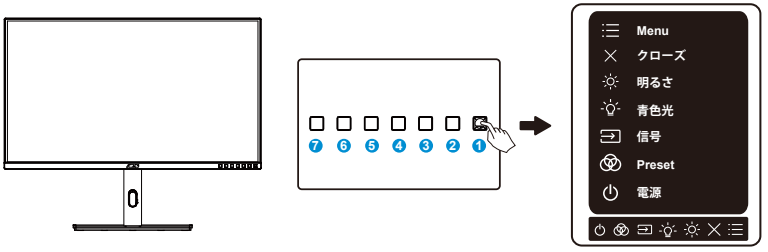
1. AC入力ポート
2. 電源スイッチ
3. HDMI1 ポート
4. HDMI2 ポート
5. DPインポート
6. USB 3.2 Gen 1 タイプ C
7. イヤホン出力ポート
8. USB 3.2 Gen 1 タイプ A
9. USB 3.2 Gen 1 タイプ A
10. USB 3.2 Gen 1 タイプ A
11. USB 3.2 Gen 1 タイプ A

このモニターは、Super-Speed USB 3.2 Gen 1 互換 (5 Gbps) です。このポートは、出力電圧 5V/3A、9V/3A、12V/3A、15V/3A、および 20V/3.25A 、および 20V/4.5A で最大 90W の電力供給を行います。USB タイプ C ケーブルを接続すると、DisplayPort ソースを入力し、電力を出力し、モニターの USB タイプ A ポート (ダウンストリーム) を有効にすることができます。USB タイプ C ケーブルをタイプ A ケーブルに接続すると、モニターの USB タイプ A ポート (ダウンストリーム) のみが有効になります。

1.6 ディスプレイ各部の説明

1.6.1 コントロールボタンの使用

ディスプレイ下部のコントロールボタンを使用して、画像設定を調整します。



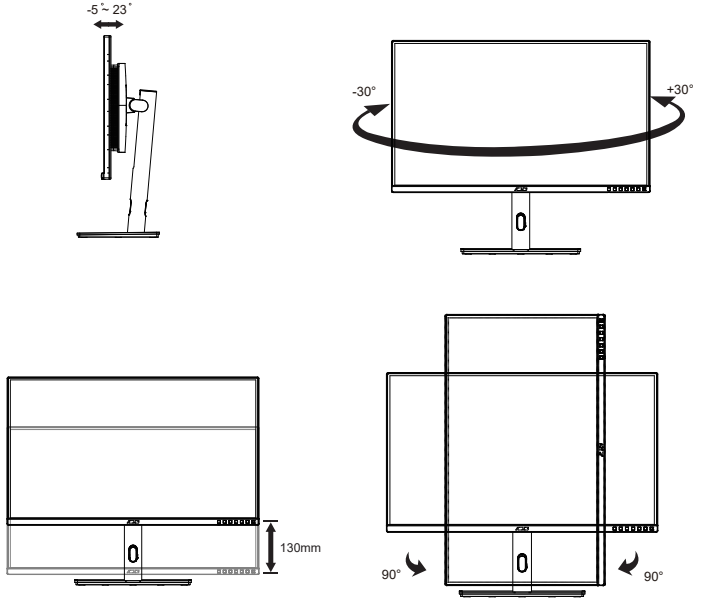
1. メニュー (5-ウェイ) ボタン：
   - 画面メニューを開くにはこのボタンを押します。
   - 選択した OSD メニュー項目を実行します。
   - 値を増やす/減らすか、選択を上/下/左/右に動かします。
2. クローズボタン
   - OSDメニューを終了します。
3. ショートカット 1：
   - デフォルト：明るさホットキー
   - ホットキー機能を変更するには、[ショートカット] > [ショートカット 1] メニューに移動します。
4. ショートカット 2：
   - デフォルト：ブルーライト低減ホットキー
   - ホットキー機能を変更するには、[ショートカット] > [ショートカット 2] メニューに移動します。
5. 入力選択ボタン
   - このホットキーを使用して、HDMI-1、HDMI-2、DisplayPort、USB Tpye-C に切り替えます
6. ProArt Preset
   - このボタンを押して、ProArtPreset モードを選択します。

7. ⏻ 電源ボタン/電源インジケータ：
   - モニターのオン/オフを切り替えます。
   - 電源インジケータの色は、下の表のように定義されています。

状態	説明
白	オン
黄色	スタンバイモード
オフ	オフ

2.1 ディスプレイの調整

- 快適にご使用いただくために、ディスプレイに向かったときに画面がよく見える角度に調節しておくことをお勧めします。
- 角度を変える際は、ディスプレイが落ちないようにスタンド部を押さえながらおこなってください。
- ディスプレイの角度は、+23˚ ～ -5˚ の間で調節可能です。また、左右 30˚ のスイベル調整が可能です。

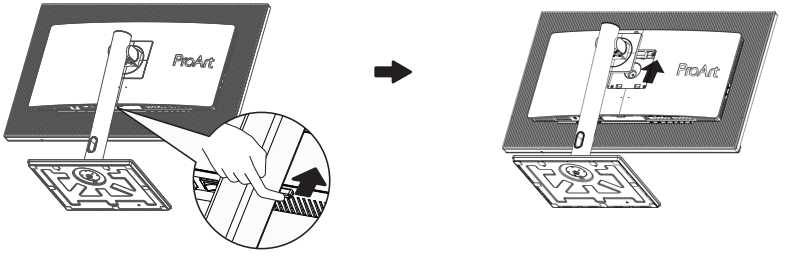


2.2 アーム/スタンドの取り外し（VESAウォールマウント用）

当ディスプレイの取り外し可能スタンドは、VESA ウォールマウント専用に設計されたものです。

アーム/スタンドの取り外し

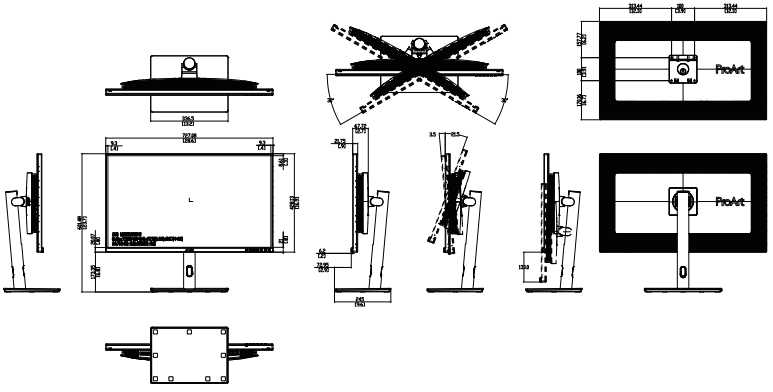
1. 電源コードと信号ケーブルを抜きます。モニターを上向きにして EPS 梱包に慎重に置きます。
2. 背面カバーのクイックリリースボタンを押します。
3. モニターからスタンド（アームおよびベース）を取り外します。



- VESAウォールマウントキット（100 x 100 mm）は別売りです。
- UL リストに記載された重量/荷重が 28.8 kg 以上（ネジ寸法：M4 x 10 mm）のウォールマウントブラケットのみをご使用ください。

2.3 外形寸法

単位：mm



3.1 画面（OSD）メニュー

3.1.1 設定方法

1. いずれかのボタン (電源ボタンを除く) を押して、OSD メニューを表示します。
2. ☰メニューボタンを押して、OSD メニューを開きます。
3. 画面に表示されているボタンを押して、機能をナビゲートします。目的の機能を強調表示し、✣ を押して開きます。選択した機能にサブメニューが存在する場合は、さらに ▼ および ▲ を押して、サブメニューの機能を選択します。目的のサブメニュー機能を強調表示し、✣ を押して開きます。
4. ▼ および ▲ を押して、選択した機能の設定を変更します。
5. OSD メニューを終了して保存するには、OSD メニューが消えるまで、◀ または ✕ を繰り返し押します。他の機能を調整するには、手順 1 ～ 4 を繰り返します。

3.1.2 OSD機能の概要

1. ProArtPreset

この機能には、12 のサブ機能があり、お好みに応じて選択することができます。

- **標準モード**：ドキュメント編集に最適です。
- **sRGBモード**：sRGB 色空間と互換性があります。sRGB モードはドキュメント編集に最適なモードです。
- **Rec. 709 モード**：Rec.709 色空間と互換性があります。
- **DCI-P3 モード：**DCI-P3 色空間と互換性があります。
- **HDR：**高ダイナミックレンジ。3 つの HDR モード (PQ Optimized、PQ Clip、および PQ Basic) が含まれています。
- **DICOM モード：**DICOM 色空間と互換性があります。
- **シーンモード：**風景写真の表示に最適です。
- **読み取りモード：**これは読書に最良の選択です。
- **高速レンダリングモード：**さまざまなバックライト周波数を生成するために、高リフレッシュレート性能として、表示をシミュレートします。

高速レンダリングモードは、60Hz でのみ有効にできます。

この機能を有効にするには、次の手順を実行する必要があります。Adaptive-Sync をオフにします。この機能を使用する場合、明るさとは調整できません。

- **ユーザーモード 1:**詳細設定で色調整を行うことができます。
- **ユーザーモード 2:**詳細設定で色調整を行うことができます。

- ガンマは、sRGB、DCI-P3、HDR、DICOM、およびシーンモードではユーザーが構成できません。
- カラー、明るさ、コントラスト、彩度、色相、ProArt パレット/色、および黒レベルは、sRGB モードではユーザーが構成できません。

カラーエンジン	標準	sRGB	Rec.709	DCI-P3	DICOM	HDR	シーンモード	読み取りモード	高速レンダリングモード	ユーザーモード 1	ユーザーモード 2
カラー	6500K	NA	6500K	P3-Theater (*1)	6500K	NA	6500K	NA	6500K	6500K	6500K
明るさ	50	50	50	50	50	NA	100	50	NA	50	50
コントラスト	80	80	80	80	80	NA	80	80	NA	80	80
鮮明度	0	0	0	0	0	NA	0	0	0	0	0
彩度	50	NA	50	50	50	NA	50	NA	50	50	50
色相	50	NA	50	50	50	NA	50	NA	50	50	50
ProArt Palette/色	V	NA	V	V	V	NA	V	V	V	V	V
Blacklevel/信号	50	50	50	50	50	NA	50	50	50	50	50
Blacklevel/バックライト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガンマ	2.2	NA	2.4	NA	NA	NA	NA	2.2	2.2	2.2	2.2
入力範囲	自動	自動	自動	自動	自動	NA	NA	NA	NA	NA	NA

V：調整可能

NA：機能無効

(*1) 6500K および P3-Theater (デフォルト) のみ

2. 青色光

LED バックライトから発せられるブルーライトのエネルギーレベルを調整します。

- **レベル 0**:変化なし

- ブルーライト低減が有効になると、標準モードの初期設定が自動的にインポートされます。
- レベル 1 ～ レベル 3 の間では、明るさ機能をユーザーが設定できます。
- レベル 4 が最適な設定です。TUV 低ブルーライト認定に準拠します。ユーザーは明るさ機能を設定できません。

以下を参照し、眼の緊張を緩和してください。

- 長時間作業している場合、しばらくの間、ディスプレイから離れてください。1 時間コンピュータで連続して作業したら、短い休み (5 分以上) を取ることが推奨されます。短い休み時間を頻繁に取ることは、長い休み時間を 1 回取ることより効果があります。
- 眼の緊張と乾きを最小限に抑えるために、ときどき遠くの物体を見つめて眼を休めてください。
- 眼の運動は眼の緊張緩和に役立ちます。次の運動を頻繁に行ってください。眼の疲れが取れない場合、医師にご相談ください。眼の運動:(1) 上下に繰り返し視点を移動します。(2) ゆっくり眼を回します。(3) 視線を斜めに動かします。
- 強いブルーライトは疲れ目や加齢黄斑変性 (AMD) の原因になる可能性があります。ブルーライト低減は有害なブルーライトを最大 70% 減らし、コンピュータービジョン症候群 (CVS) 予防になります。

---

3. Palette

- **明るさ**:0～100の範囲で調整可能です。
- **コントラスト:**0～100の範囲で調整可能です。
- **彩度**:0～100の範囲で調整可能です。
- **色相:**画像の色を緑と紫の間で変化させます
- **カラー**:5 つのプリセットカラーモード 9300K、6500K、5500K、5000K、P3-Theater が含まれています。
- **ガンマ:**1.8、2.0、2.2、2.4、2.6 を含む 5 つのガンマモードが含まれています。
- **黒レベル**:最も暗いグレーレベルの初期化された最初の信号レベルを調整します。
- **色**:

  * 6 軸色相調整。

  * 6 軸彩度調整。

  * R、G、B のゲインレベルを調整します。

  * R、G、B の黒レベルオフセット値を調整します。

P3-Theater は、DCI-P3 モードが選択されている場合にのみ使用できます。

- **色のリセット**:

  * リセットされた現在のカラーモード:
  現在のカラーモードの色設定を工場出荷値にリセットします。

  * リセットされたすべてのモードカラー:
  すべてのカラーモードの色設定を工場出荷値にリセットします。

4. 画像

このメイン機能から、鮮明度、Trace Free、アスペクトコントロール、入力範囲 を調整できます。

- **鮮明度:**画像の鮮明度を調整します。0～100の範囲で調整可能です。
- **Trace Free:**オーバードライブ技術により、応答速度をはやめます。0（遅い）～100（速い）の範囲で調節可能です。
- **アスペクトコントロール:**アスペクト比をフル画面、4:3、1:1、OverScan の間で調整します。

4:3 は入力ソースが 4:3 形式の場合にのみご利用いただけます。
OverScan は HDMI 入力ソースでのみご利用いただけます。

- **入力範囲:**入力範囲を自動、フル画面、Limited 16-235 に調整します。

5. サウンド

メイン機能から、ボリューム、ミュート、音声入力を調整できます。

- **ボリューム：**出力ボリュームレベルを調整します。
- **ミュート：**オーディオのミュートオンまたはミュートオフを選択します。
- **音声入力：**モニターの音声がどの音源から来るかを決定します。

6. PIP/PBP Setting (PIP/PBP設定)

PIP/PBP 設定により、任意のビデオソースから接続されているサブウィンドウを開くことができます。

- **PIP/PBPモード：**PIP、PBP を選択するか、オフに切り替えます。
- **PIP/PBPソース：**ビデオ入力ソースを「HDMI-1」、「HDMI-2」、「DisplayPort」または「USB Type-C」から選択します。
- **PIP サイズ：**PIPサイズを「小さい」、「中」、「大きい」のいずれかに調節します。

- メインソースとサブソースは、次の表のように利用できます。

		サブ音声入力			
		HDMI-1	HDMI-2	DisplayPort	USB Type-C
メイン音声入力	HDMI-1	NA	NA	OK	OK
	HDMI-2	NA	NA	OK	OK
	DisplayPort	OK	OK	NA	NA
	USB Type-C	OK	OK	NA	NA

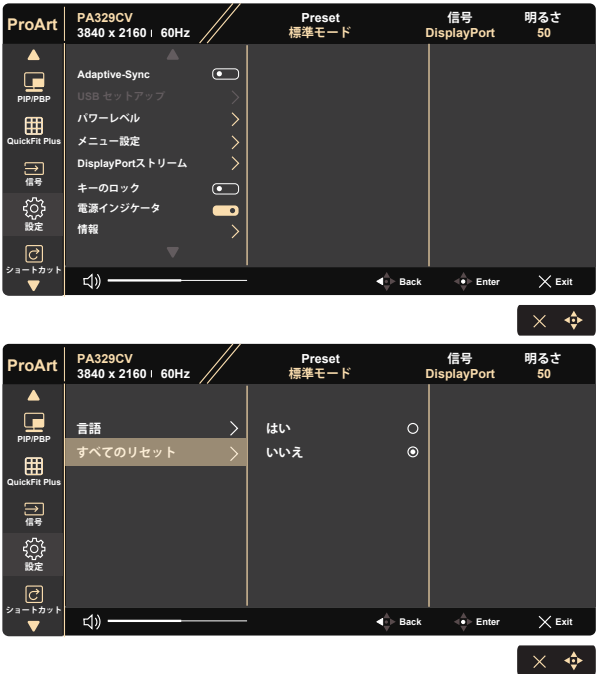
7. QuickFit Plus

ユーザーは、テストコピーを印刷せずに、ドキュメントまたは写真のレイアウトを画面上で直接プレビューできます。

8. 信号

入力ソースを HDMI-1、HDMI-2、DisplayPort、USB Type-C 、Auto Source Detection から選択します。

9. 設定



- **Adaptive-Sync：**Adaptive-Sync 対応のグラフィックスソースで、一般的なコンテンツフレームレートに基づいてリフレッシュレートを動的に調整することを可能にします。電力効率に優れ、映像のカクツキがなく、ディスプレイ更新の待ち時間が少なくなります。

1.* サポートされている GPU、最小 PC システム、およびドライバーの要件については、GPU の製造元にお問い合わせください。
2. この機能を有効にするには、次の手順を実行する必要があります。DisplayPort ストリームを DisplayPort 1.2 に設定し、高速レンダリングモードをオフにします。

- **USB セットアップ：**USB タイプ C ポート設定を構成します。USB セットアップパラメータは、音声入力が USB タイプ C ポートに接続されている場合にのみ出力解像度に影響します。USB 2.0 と USB 3.2 Gen 1 の技術的な違いにより、最大 USB データスループット (帯域幅およびその他の関連特性) が変化し、最大出力解像度に影響を与えます。

  * USB 3.2 Gen 1：USB Type-C ポートの 3.2 Gen 1 仕様に準拠したデータ転送速度は、メインリンク用の 2 つのレーンのみに対応します。

* USB 2.0：USB Type-C ポートの 2.0 仕様に準拠したデータ転送速度は、メインリンク用の 4 つのレーンのみに対応します。

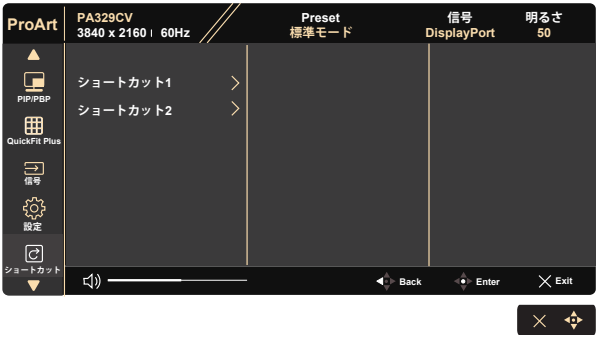
- USB タイプ C - A ケーブルを使用する場合、データ転送速度は USB 3.2 Gen 1 のままになります。
- 音声入力が DisplayPort または HDMI ポートに接続されている場合、USB セットアップ設定は解像度に影響しません。

- **パワーレベル：**省エネ中の電源オンハブに標準レベルを選択します。省エネ中の電源オフハブにディープレベルを選択します。
- **メニュー設定：**メニュー タイムアウト、DDC/CI およびメニュー画面の透明を調整します。

- **DisplayPortストリーム：**グラフィックスカードカードが DP 1.1 互換でない場合は、DP 1.1 を選択してください。
- **キーのロック：**すべてのキー機能を無効にします。下ボタンを 5 秒間以上押すことにより、キーロック機能を無効にします。
- **電源インジケータ：**電源LEDインジケータのオン/オフを切り替えます。
- **情報：**ディスプレイ情報を表示します。
- **言語：**メニュー言語を選択します。以下の選択肢があります：**英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、オランダ語、ロシア語、ポーランド語、チェコ語、クロアチア語、ハンガリー語、ルーマニア語、ポルトガル語、トルコ語、簡体字中国語、繁体字中国語、日本語、韓国語、ペルシャ語、タイ語、インドネシア語**。
- **すべてのリセット：**すべての設定を工場出荷時のデフォルトモードに戻すには、「はい」を選択します。

10. ショートカット

このオプションを選択することで、2 つのショートカットキーを設定することができます。青色光、明るさ、コントラスト、PIP/PBP、カラー、サウンド、sRGB モード、Rec. 709 モード、DICOM モード、ユーザーモード 1、ユーザーモード 2 a から選択して、ショートカットキーとして設定できます。



3.2 仕様

モデル	PA329CV
パネルサイズ	32″W (81.28cm)
最大解像度	3840x2160@60Hz
明るさ(標準)	350cd/m²
Intrinsicコントラスト比(標準)	1000:1
視角(CR=10)	178°(V) /178°(H)
ディスプレイカラー	10 億 7000 万
色彩度	100% sRGB
応答速度	5ms (グレー→グレー)
サテライトスピーカー	ステレオ2W x 2
イヤホン出力	はい
HDMIサウンド	はい
HDMI入力	はい
DisplayPort入力	はい
USB ポート	アップストリーム x1、ダウンストリーム x4
電源ON時の消費電力(最大)	< 32 W* Energy Star 8.0 標準に基づく
シャーシの色	黒
省電力モード	< 0.5W
電源オフモード	< 0.5W
チルト	-5° ~ +23°
外形寸法(幅×高×奥行)	727.08 x 601.48 x 245 mm (最高) 727.08 x 471.48 x 245 mm (最低)
外形スタンドを含まない寸法 (幅 x 高 x 奥行) (VESA ウォールマウントの場合)	727.08 x 428.13 x 67.72 mm
梱包サイズ(幅×高×奥行)	840 x 516 x 280 mm
本体重量(目安)	12.6 kg (正味)、8.1 kg (スタンドを含まない)
総重量(目安)	17.6 kg
定格電圧	AC 100～240V(内蔵)
動作温度	0～40°

3.3 トラブルシューティング（FAQ）

問題	可能な解決方法
電源LEDが点灯しない	• ⏻ボタンを押して、ディスプレイの電源がオンになっているかどうか確認してください。 • 電源コードがディスプレイとコンセントに正しく接続されているかどうか確認してください。 • メインメニューで電源インジケータ機能を確認します。「オン」を選んで、電源LEDをオンにします。
黄色の電源LEDが点灯しているのに画面に何も表示されない	• ディスプレイとコンピュータの電源がオンになっているかどうか確認してください。 • 信号ケーブルがディスプレイとコンピュータに正しく接続されていることを確認してください。 • 信号ケーブルのピンが曲がっていないか確認してください。 • コンピュータを別のディスプレイ（あれば）に接続してみて、コンピュータが正しく作動しているかどうか確認してください。 • 入力選択設定が有効な信号であることを確認してください。 • 入力源の自動検出を有効にして、すべての入力ポートを検出します。
映像が明るすぎる、または暗すぎる	• メニューからコントラストと明るさ設定を調整してください。
映像がバウンスする、または映像に波模様が現れる	• 信号ケーブルがディスプレイとコンピュータに正しく接続されていることを確認してください。 • 電気障害を引き起こしている可能性のある電気機器をディスプレイから離してください。
映像の色彩に異常がある（白色が白く見えない）	• 信号ケーブルのピンが曲がっていないか確認してください。 • メニューをリセットしてください。 • メニューで赤/緑/青の色設定を調整するか、カラーを選択してください。
音が出ない、または音が小さい	• ディスプレイ側とコンピュータ側両方のボリューム設定を調整してください。 • コンピュータのサウンドカードドライバが正しくインストールされ、有効化されていることを確認してください。

3.4 対応タイミング一覧

HDMI/DP 入力の PC タイミングリスト

タイミング一覧	DisplayPort	HDMI1	HDMI2
640 x 480 @ 60Hz	V	V	V
800 x 600 @ 56Hz	V	V	V
800 x 600 @ 60Hz	V	V	V
1024 x 768 @ 60Hz	V	V	V
1280 x 720 @ 60Hz	V	V	V
1280 x 960 @ 60Hz	V	V	V
1280 x 1024 @ 60Hz	V	V	V
1440 x 900 @ 60Hz	V	V	V
1680 x 1050 @ 60Hz	V	V	V
1920 x 1080 @ 60Hz	V	V	V
1920 x 2160 @ 60Hz	V	V	V
2560 x 1440 @ 60Hz	V	V	V
3840 x 2160 @ 30Hz	V	V	V
3840 x 2160 @ 60Hz	V (デフォルト)	V (デフォルト)	V (デフォルト)

ビデオタイミング

タイミング一覧	DisplayPort	HDMI1	HDMI2
640x480P @ 59.94/60Hz	V	V	V
720x480P @ 59.94/60Hz	V	V	V
720x576P @ 50Hz	V	V	V
1280x720P @ 50Hz	V	V	V
1280x720P @ 59.94/60Hz	V	V	V
1440x480P @ 59.94/60Hz	V	V	V
1440x576P @ 50Hz	V	V	V
1920x1080P @ 50Hz	V	V	V
1920x1080P @ 59.94/60Hz	V	V	V
3840x2160 @ 24Hz		V	V
3840x2160 @ 25Hz		V	V
3840x2160 @ 30Hz		V	V
3840x2160 @ 50Hz	V	V	V
3840x2160 @ 60Hz	V	V	V

*** 上記リストに記載されていないモードはサポートされていない可能性があります。最適な解像度を得るために、リストに記載されているモードをお選びになることを推奨します。**